

平成24年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 防災資機材の整備について

まず始めに、防災資機材の整備についてであります。地域防災計画に基づき、アルファ米や暖房器具など災害時に必要とされる食糧や資機材の整備充実に努めてきたところであります。

また、防災に対する意識や関心の高まりから、自主防災組織が増加しており、今年度は、組織化した全ての自治会等に対し、救助工具セットを貸与することいたしました。

なお、本定例会において、本事業に係る必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

2 学校跡施設の利活用について

次に、広葉小学校跡施設の利活用についてであります。児童館やエコミュージウムコアセンター、地域交流スペースなど、施設内に設置する機能及びその配置がまとまったところであり、現在、運営方法等の検討や実施設計を行っているところであります。

緑陽小学校跡施設につきましては、公募提案審査委員会から答申を受け、社会福祉法人北海長正会を借受候補者として決定いたしました。内容につきましては、複合型サービス事業やグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域交流スペースなどを実施することとしております。

また、グラウンドにつきましては、一部駐車場を整備するほか、スポーツや地域の交流イベントなどに活用する計画としております。

今後につきましては、無償貸付契約の締結について、平成25年第1回市議会定例会に議案を提出する予定であります。

なお、両跡施設に係る利活用の内容につきましては、10月から11月にかけて地域への説明会を開催し、理解を得たところであります。

3 介護サービス施設について

次に、介護サービス施設についてであります。第5期介護保険事業計画に基づき、介護保険施設等の開設事業者を決定いたしました。

特別養護老人ホームにつきましては、介護保険施設事業者選考委員会の選考結果を受け、社会福祉法人北ひろしま福祉会に決定し、グループホームにつきましては、地域密着型サービス等運営委員会の選考結果を受け、北広島団地地区は社会福祉法人北海長正会に、西の里地区は朝日ベストライフ株式会社に決定いたしました。

今後につきましては、事業者において施設整備を行い、西の里地区のグループホームは平成25年度に、特別養護老人ホームと北広島団地地区のグループホームは平成26年度に開設する予定であります。

4 市道輪厚仁別線について

次に、市道輪厚仁別線についてであります。整備を進めている輪厚工業団地の利便性や、国道36号の交差点における渋滞解消と安全性の向上を図るため、道路改修の検討を行ってきたところであります。

このたび、関係者との協議が進んだことから、来年春に右折レーンの増設と交差点改良工事を行うことといたしました。

なお、本定例会において、本事業に係る必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

5 企業の進出状況等について

次に、企業の進出状況等についてであります。平成20年9月に閉鎖しておりましたダウ化工株式会社札幌工場が、東日本大震災の復興や住宅の省エネルギー化による国内の断熱資材の需要増などに対応するため、11月19日から操業を再開しております。

また、広島工業団地では、東日本フード株式会社が食肉加工場などを建設中であり、平成25年3月の稼働を予定しております。この他にも数社の企業において、工場増築や設備増強などが進められているところであります。

今後につきましては、現在進めております輪厚工業団地の企業誘致に努め、地域経済の活性化や雇用の促進につなげてまいりたいと考えているところであります。

6 道都大学との連携について

次に、道都大学との連携についてであります。これまでも市の計画づくりや事業への参加、学生のボランティア活動などに協力をいただいているほか、市民向け講座の開設など、教育や研究の成果を地域社会に還元する事業に取り組まれているところであります。

スポーツ活動なども盛んであり、このたび、初めてプロ野球ドラフト会議において2名の選手が指名され、また、在学生在が日展の洋画部門に全国最年少で入選するなど、明るい話題をもたらしてくれているところであります。

今後につきましても、さらに大学との連携を深めてまいりたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。